

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-195301

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>

A 01 N 25/00  
25/08  
59/14

識別記号

1 0 1

庁内整理番号

7215-4H  
7215-4H  
7144-4H

⑭ 公開 昭和62年(1987)8月28日

審査請求 有 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 ゴキブリ用毒餌

⑯ 特 願 昭61-36658

⑰ 出 願 昭61(1986)2月20日

⑱ 発 明 者 塩 谷 隆 幸 和歌山市土佐町3丁目48番地

⑲ 発 明 者 土 井 良 治 和歌山市板屋町13番地

⑳ 出 願 人 ユーアイかとり株式会 和歌山県有田郡広川町大字下津木125番地  
社

㉑ 代 理 人 弁理士 石田 定次 外1名

明 細 書

1 発明の名称 ゴキブリ用毒餌

2 特許請求の範囲

1、ゴキブリ毒餌をタール系赤色色素で着色したことを特徴とするゴキブリ用毒餌。

2、ゴキブリ毒餌が錠剤状でホウ酸、結晶セルローズ、食用油脂、澱粉とからなる特許請求の範囲第1項記載のゴキブリ用毒餌。

3 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、ゴキブリ毒餌をゴキブリの好む色彩に着色してなるゴキブリ用毒餌に関するものである。

(従来技術)

従来、ゴキブリ用毒餌には誤食防止の観点から、毒餌にいろいろの色素で着色したものが使用されているが、これは幼児などが誤って食べることを防止するために着色しているものである。

(発明が解決しようとする問題点)

本発明はゴキブリが好む色彩にゴキブリの毒餌

を着色することにより、誤食防止は勿論のこと、ゴキブリが好む色彩に着色した毒餌を好んで食べることににより殺虫効果を向上しようとするゴキブリ用毒餌を提供しようとするものである。

(問題点を解決するための手段)

本発明のゴキブリ用毒餌は、以下の構成である。ホウ酸、結晶セルローズ、食用油脂、澱粉にタール系赤色色素を混入着色して錠剤状に形成したものである。

(実施例)

本発明はゴキブリ用毒餌を以下の様に、色素を全く混入しない無着色の毒餌(白色)、タール系色素を混入して赤色、青色、黄色に着色した毒餌をそれぞれ作り、これらのゴキブリ用毒餌を同一の条件下で毒餌の減りぐわいとゴキブリの死亡数について比較検討した。

尚、本発明に使用した色素は法定タール系色素赤色202号、黄色202号、黄色202号を使用した。

「1」試験錠剤(錠剤重量一錠4g)

## 1. 赤色色素を混入したもの(赤色1)

ホウ酸	1.200g
結晶セルローズ	1.000g
食用油脂	0.040g
赤色色素	0.004g
澱粉	1.758g

計 4.000g

## 2. 赤色色素を混入したもの(赤色2)

ホウ酸	1.200g
結晶セルローズ	1.000g
食用油脂	0.040g
赤色色素	0.012g
澱粉	1.748g

計 4.000g

## 3. 色素を混入しない無着色のもの(白色1)

ホウ酸	1.200g
結晶セルローズ	1.000g
食用油脂	0.040g
澱粉	1.760g

計 4.000g

計 4.000g

## 6. 黄色色素を混入したもの(黄色2)

ホウ酸	1.200g
結晶セルローズ	1.000g
食用油脂	0.040g
青色色素	0.012g
澱粉	1.748g

計 4.000g

## 4. 青色色素を混入したもの(青色1)

ホウ酸	1.200g
結晶セルローズ	1.000g
食用油脂	0.040g
青色色素	0.004g
澱粉	1.758g

計 4.000g

## 5. 青色色素を混入したもの(青色2)

ホウ酸	1.200g
結晶セルローズ	1.000g
食用油脂	0.040g
青色色素	0.012g
澱粉	1.748g

計 4.000g

## 5. 黄色色素を混入したもの(黄色1)

ホウ酸	1.200g
結晶セルローズ	1.000g
食用油脂	0.040g
黄色色素	0.004g
澱粉	1.758g

置して10日後、夫々の錠剤の減少重量を測定した。

BEST AVAILABLE COPY

## 「2」供試虫

チャバネゴキブリ *Blattella germanica*

渡田コロニー雌雄成虫

## 「3」試験方法

底面が1.4m×1.5m 深さ15cmのブリキ製容器の底にクラフト紙を敷き、ゴキブリの逃亡を防ぐため容器内壁に約5cm幅にバターを塗った。

容器の中央には45cm角のベニヤ板を約1cmの間隔をあけて二枚重ね、シェルターとし、水をコーナー2箇所に置いて供試虫100匹を放した。

又、供試虫が容器内で安定するまで、一昼夜放置したのち、前記の各試験錠剤ごとにを別個に設

## 「4」結果

## (1) 摂食量

錠剤の種類	赤色1	赤色2	白色1	青色1	青色2	黄色1	黄色2
開始前重量(g)	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
10日後重量(g)	2.55	2.50	2.91	3.20	3.25	3.15	3.20
摂食 (g)	1.45	1.50	1.09	0.80	0.75	0.85	0.80

## (2) 効果

錠剤の種類	赤色1	赤色2	白色1	青色1	青色2	黄色1	黄色2
開始時匹数	100	100	100	100	100	100	100
10日後生存匹数	21	19	41	42	43	42	42
10日後死亡匹数	79	82	59	58	57	58	58

## 「5」考察

上記の結果からゴキブリは赤色に着色した糖餌錠剤が他の色彩の糖餌錠剤よりよく食べ、その結果ゴキブリの死亡数もそれだけ良いことが判明した。

特許出願人 ユーアイかとり株式会社

代理人 石 田 定 次

外 1 名